

東京都介護支援専門員再研修受講希望者 各位

公益財団法人東京都福祉保健財団

令和7年度第2期 東京都介護支援専門員 再研修の募集について

当財団では、令和7年度第2期東京都介護支援専門員再研修を実施します。
本研修の受講対象となる方で、受講を希望される方は、下記手続きによりお申し込みください。

記

1 実施する研修及びカリキュラム

東京都介護支援専門員再研修

カリキュラムは5頁の URL または二次元コードからご確認ください。

2 受講対象者

以下、(1)、(2) または (3) のいずれかに該当する方

- (1) 東京都で介護支援専門員の登録をして、介護支援専門員証（以下「専門員証」といいます。）の交付を受けており、その有効期間中に更新のための研修を修了しなかった方、または研修を修了したが更新申請をせずに専門員証が失効し、新たに専門員証の交付を受けようとする方
- (2) 東京都で介護支援専門員の登録をして5年が経過し、新たに専門員証の交付を受けようとする方
- (3) 特例措置対象者で新たに専門員証の交付を受けようとする方
専門員証に記載された有効期間満了日が令和2年2月25日から令和5年3月31日の方は「介護支援専門員及び主任介護支援専門員資格の特例措置対象者の拡充及び期間の延長について（通知）」（令和3年1月26日付2福保高介第1672号。以下、「特例措置」という。）に基づき、現在の介護支援専門員証の有効期間満了日の翌日から3年間、資格を喪失しない取扱いですが、本研修の受講対象となります。
（資格を喪失しない期間に介護支援専門員としての実務経験がある方を除く）

※ 介護支援専門員資格の特例措置の詳細は、東京都のホームページで確認してください。
https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/kaigo_lib/care/kenshuujyohou

他道府県登録の方については、4頁の「11 受講地の変更」をご確認ください。

3 受講申込方法

インターネット申込で受付を行います。別紙「研修の申込みにあたっての操作マニュアル」をご一読の上、お申し込みください。

※ お申込みの URL、二次元コードは、別紙「研修の申込みにあたっての操作マニュアル」3 頁にあります。

【申込期間】

令和7年7月18日(金曜日)10時00分 ~ 8月15日(金曜日)23時59分

○上記の期間内に **申込手続きを完了** させてください。期間外の受付はできません。

○先着順ではございません。

お申込が多数の場合は、「4 受講の決定方法」のとおり受講決定します。

○申込後の内容変更はできません。日程表（7 頁～）をよくご確認ください。

4 受講の決定方法

募集定員を超えて受講申込があったときは、直近の申込状況を鑑み、以下の優先順位のとおり、受講決定いたします。

優先 順位	審査事項
1	・ 専門員証が失効し、新たに専門員証の交付を受けようとする方 ・ 介護支援専門員の登録のみ（専門員証が交付されていない方）で、5 年が経過し、今回、新たに専門員証の交付を受けようとする方
2	・ 特例措置対象者で新たに専門員証の交付を受けようとする方 （特例措置による有効期間満了日が早い方を優先します。）

5 申込結果及び受講決定の通知

（1）申込結果通知

申込者全員に、ご登録のメールアドレスに宛てて、令和7年9月4日（木曜日）頃、受講決定・不決定の審査結果を通知いたします。

（2）受講決定通知

受講決定者のみ、ご登録の住所宛に受講決定通知を郵送いたします。

到着予定日：令和7年9月9日（火曜日）

6 受講料及びテキスト送付

(1) 受講料

28,500円（不課税）

受講決定通知に同封する払込用紙で、払込期日までにゆうちょ銀行にてお支払いください。
コンビニ払いはできません。

また、払込期日は到着から**7日程度**と短くなっておりますので、ご注意ください。

(2) テキストの送付

受講料の払込確認後、研修テキスト等をご自宅に宅配便で送付します。

7 研修実施方法

以下の(1)から(5)までのとおり、研修を実施します。

詳細な受講方法については、受講決定通知とあわせてご案内いたします。

(1) 講義科目の動画視聴

講義科目の動画については、ケアマネ研修管理システム（以下、「システム」といいます。）により視聴していただきますが、オンデマンド配信（指定された期間中に、ご自身の都合にあわせて視聴できる）形式となります。

なお、動画の視聴には大量のデータ通信を行うため、スマートフォンまたはタブレットを使用すると、携帯電話会社のデータ容量制限に達する場合があります。そのため、通信容量無制限のWi-Fi環境など、容量制限がない環境での受講を推奨します。

また、データ通信料は受講者の方のご負担となります。モバイル回線使用での受講も可能ですが、ご契約内容によっては通信料のご負担が大きくなる場合がございますので、ご注意ください。

(2) 修了評価テスト及び課題の提出

講義動画を視聴し、システムで修了評価テストを解答していただきます。

また、講義動画内の講師の指示に従って個人学習を行い、「個人学習シート」を完成させます。

指定の期日までに課題をご提出いただきます。（課題の未記入や未提出がある場合は、研修は未履修扱いとなります。）

(3) グループ演習の受講

以下のいずれかの研修コースでグループ演習に参加していただきます。受講日が指定されておりますので、日程表（7頁～）でご確認ください。

① オンライン研修コース

Zoomを使用します。パソコンや通信ネットワーク等の受講環境をご準備ください。詳細は、「オンライン研修コースについて」（6頁）をご確認ください。

② 集合研修コース

感染症等（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなど）に罹患し、治癒していない場合は、受講をご遠慮いただきます。また、受講中はマスク着用や手洗い、手指のアルコール消毒にご協力をお願いいたします。

8 新型コロナウイルス感染症に係る特例措置対象者の受講について

特例措置対象者の方（専門員証に記載された有効期間満了日が令和2年2月25日から令和6年8月5日5年3月31日の方）で、専門員証の交付日から現在まで介護支援専門員としての実務経験がない方は、①本研修または②更新研修(実務未経験者)を選択して申し込むことができます。

※更新研修(実務未経験者)は、申込サイトが異なりますので、ご注意ください。

＜選択する研修種別ごとの有効期間等＞

研修種別		証の交付 申請種別	新たに交付される証の有効期間
①	再研修	新規交付	研修修了後、交付申請手続きの完了から5年間
②	更新研修(実務未経験者)	更新交付	現在の証に記載の有効期間満了日から5年間

9 個人情報の取扱い

受講申込時に記載いただいた個人情報については、適正に管理を行い東京都介護支援専門員研修の受講要件審査・実施及び名簿登録・修了証書発行業務以外の目的に使用することはありません。

なお、受講要件審査のため、専門員証の登録元である東京都から他の東京都指定研修実施機関に対し、受講履歴等の提供を行います。

10 登録事項の変更手続き

介護支援専門員としての登録事項（氏名・住所）に変更がある場合、登録事項変更手続きが必要です。登録事項が異なるとご本人確認が取れず、**受講決定ができません**ので、必ず手続きを行ってください。

東京都の登録者は、以下のURLから手続方法の確認ができます。

【登録事項変更手続き】

https://tcm-shinsei.fukushizaidan.jp/app/input/registration_change/terms



11 受講地の変更

本研修は、原則として、東京都に介護支援専門員の登録がある方のみ受講できます。

ただし、他道府県で登録されている方については、都内事業所等で勤務している、都内在住である等要件を満たせば、受講地変更の手続を行うことで、本研修を受講することができます。受講地変更を希望される方は、**必ず以下の問合せ先へ電話連絡し、受講地変更が認められるかご相談ください。**

受講地変更は東京都と道府県間で手続を行うため時間を要しますので、受講地変更のお手続き状況によっては研修の受講ができない場合がございます。早めのご相談をお願いします。

【受講地変更の問合せ先】

東京都福祉局 高齢者施策推進部 介護保険課 ケアマネジメント支援担当

電話：03-5320-4279

【東京都ホームページ 2 受講地変更（1）東京都へ受講地変更】

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/kaigo_lib/care/touroku/tourokuiten

12 東京都介護支援専門員法定研修受講料補助

本研修は、令和6年度から東京都が実施する研修受講料補助金の対象となります。補助金の対象経費は、研修受講料のうち、受講者の勤務先等が負担した経費となり、補助金の申請者及び交付先は事業所等となります。詳細については、下記ホームページでご確認ください。

【東京都ホームページ 介護支援専門員法定研修受講料補助事業】

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/kaigo_lib/care/kensyuuzukouryouhozyo

13 令和7年度研修スケジュール

令和7年度第3期の研修は、以下のスケジュールで募集・実施する予定です。
受講を希望する場合は、当財団ホームページをご確認のうえ、お申し込みください。

	研修募集時期（予定）	研修実施時期（予定）
第3期	令和7年10月中旬	令和7年12月～令和8年2月

14 参考情報

下記の URL または二次元コードからお確かめください。

【研修カリキュラム】

https://www.keamane.tokyo.jp/wp-content/uploads/2024/08/saikenshu_curriculum.pdf



【介護支援専門員の資格及び研修の体系】

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/fukushi/keamane_kensyutaikeizu20250310-pdf



<お問合せ先>

公益財団法人東京都福祉保健財団

人材養成部 介護人材養成室 ケアマネ担当

電話番号 03-3344-8512 (平日: 8時45分～17時30分)

※申込み期間は、電話が大変混み合う場合がございますので、募集案内を必ずご確認の上、お電話いただきますようお願いいたします。

URL: <https://www.keamane.tokyo.jp/kensyu/>



オンライン研修コースについて

1 オンライン研修コースを受講するために必要なもの

受講に必要なもの	説明
インターネットに接続可能なパソコン	スマートフォン・タブレットは不可 グループ演習で「画面共有」をしていただきますので、パソコンが必要となります。
Webカメラ、スピーカー、マイク	パソコンに内蔵されていれば、新たに用意いただく必要はありません。
Zoom※アプリ	事前にアプリのダウンロードをお願いします。
Word、Excel (マイクロソフト社のソフト)	左記のソフトの資料を研修で使用します。
通信ネットワーク環境	有線 LAN や Wi-Fi 等、オンライン研修コースを受講するための通信設備が必要になります。

※Zoomのシステム要件等についてはZoomヘルプセンターをご確認ください。
(<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>)

2 オンライン研修コース受講にあたっての留意点

- (1) 研修では、グループ（1班6名）で演習がありますが、画面共有を行っていただきますので、パソコンでご受講していただきます。
- (2) 演習時等、ファシリテーターや受講者との資料の共有（発表時や書記役の書記シートの共有）の際にZoomの画面共有機能の操作等があります。
- (3) 受講場所をご自宅・事業所を推奨します。特に、事業所で受講する場合は、周囲の音声を拾わないように、個室での受講や、ヘッドセットを着用しての受講をお願いします。
また、同じ空間でPCを複数使用する場合は、ハウリング防止のためヘッドセットを着用してください。（ヘッドセットは雑音が入りにくい「単一指向性」のものを推奨します。）
- (4) Zoomはブラウザでの受講も可能ですが、接続が不安定になること等が想定されるため、アプリの使用を推奨します。
- (5) Zoom使用にあたっては、Zoom規約をお読みいただき、同意をした上でご受講ください。
なお、Zoom利用時の損害、損失について、東京都及び財団は一切の責任を負いかねます。
- (6) 本研修は法定研修です。ご自宅で受講される場合、お子様やペットなどの面倒をみながらの研修受講はできません。

令和7年度第2期 東京都介護支援専門員 再研修 日程

(1) a コース (2509Sa1：オンライン研修コース)

動画名・番号		科目名称	時間※	受講日・受講方法
動画配信科目	オリエンテーション・研修資料	開講オリエンテーション	10分	令和7年9月26日 ～ 令和7年10月26日 配信動画を ケアマネ研修管理 システムで視聴
	講義動画①	1-1 1-2 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間	
		1-3 1-4 1-5 自立支援のためのケアマネジメントの基本	約5時間	
		1-6 1-7 1-8 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間	
	講義動画②	2-1 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	約2時間	
		2-2 2-3 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間	
		2-4 2-5 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間	
		2-6 2-7 ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間	
	講義動画③	3-1 3-2 生活の継続及び家族を支える基本的なケアマネジメント	約3時間	
		3-3 3-4 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約4時間	
		3-5 3-6 3-7 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	約4時間	
	講義動画④	4-1 4-2 4-3 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-4 4-5 心疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-6 4-7 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	約3時間	
	講義動画⑤	5-1 ～ 5-5 高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	約2時間	
		5-6 5-7 5-8 看取りに関する事例	約4時間	
		5-9 5-10 地域共生社会の実現に向けた他方他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約3時間	
研修（グループ演習）	1日目	アセスメント及び居宅サービス計画書等作成の総合演習	9:30 - 17:00	11/10（月） オンライン（Zoom）

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は、後日発送する「研修資料」をご確認ください。

令和7年度第2期 東京都介護支援専門員 再研修 日程

(2) **b** コース (2509**Sb**1：オンライン研修コース)

動画名・番号		科目名称	時間※	受講日・受講方法
動画配信科目	オリエンテーション・研修資料	開講オリエンテーション	10分	令和7年9月26日 ～ 令和7年10月26日 配信動画を ケアマネ研修管理 システムで視聴
	講義動画①	1-1 1-2 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間	
		1-3 1-4 1-5 自立支援のためのケアマネジメントの基本	約5時間	
		1-6 1-7 1-8 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間	
	講義動画②	2-1 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	約2時間	
		2-2 2-3 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間	
		2-4 2-5 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間	
		2-6 2-7 ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間	
	講義動画③	3-1 3-2 生活の継続及び家族を支える基本的なケアマネジメント	約3時間	
		3-3 3-4 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約4時間	
		3-5 3-6 3-7 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	約4時間	
	講義動画④	4-1 4-2 4-3 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-4 4-5 心疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-6 4-7 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	約3時間	
	講義動画⑤	5-1 ～ 5-5 高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	約2時間	
		5-6 5-7 5-8 看取りに関する事例	約4時間	
		5-9 5-10 地域共生社会の実現に向けた他方他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約3時間	
研修（グループ演習）	1日目	アセスメント及び居宅サービス計画書等作成の総合演習	9:30 - 17:00	11/11（火） オンライン（Zoom）

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は、後日発送する「研修資料」をご確認ください。

令和7年度第2期 東京都介護支援専門員 再研修 日程

(3) C コース (2509Sc1: オンライン研修コース)

動画名・番号		科目名称	時間※	受講日・受講方法
動画配信科目	オリエンテーション・研修資料	開講オリエンテーション	10分	令和7年9月26日 ～ 令和7年10月26日 配信動画を ケアマネ研修管理 システムで視聴
	講義動画①	1-1 1-2 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間	
		1-3 1-4 1-5 自立支援のためのケアマネジメントの基本	約5時間	
		1-6 1-7 1-8 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間	
	講義動画②	2-1 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	約2時間	
		2-2 2-3 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間	
		2-4 2-5 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間	
		2-6 2-7 ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間	
	講義動画③	3-1 3-2 生活の継続及び家族を支える基本的なケアマネジメント	約3時間	
		3-3 3-4 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約4時間	
		3-5 3-6 3-7 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	約4時間	
	講義動画④	4-1 4-2 4-3 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-4 4-5 心疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-6 4-7 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	約3時間	
	講義動画⑤	5-1 ～ 5-5 高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	約2時間	
		5-6 5-7 5-8 看取りに関する事例	約4時間	
		5-9 5-10 地域共生社会の実現に向けた他方他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約3時間	
研修（グループ演習）	1日目	アセスメント及び居宅サービス計画書等作成の総合演習	9:30 - 17:00	11/13（木） オンライン（Zoom）

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は、後日発送する「研修資料」をご確認ください。

令和7年度第2期 東京都介護支援専門員 再研修 日程

(4) d コース (2509Sd1：集合研修コース)

	動画名・番号	科目名称	時間※	受講日・受講方法
動画配信科目	オリエンテーション・研修資料	開講オリエンテーション	10分	令和7年9月26日 ～ 令和7年10月26日 配信動画を ケアマネ研修管理 システムで視聴
	講義動画①	1-1 1-2 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間	
		1-3 1-4 1-5 自立支援のためのケアマネジメントの基本	約5時間	
		1-6 1-7 1-8 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間	
	講義動画②	2-1 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	約2時間	
		2-2 2-3 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間	
		2-4 2-5 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間	
		2-6 2-7 ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間	
	講義動画③	3-1 3-2 生活の継続及び家族を支える基本的なケアマネジメント	約3時間	
		3-3 3-4 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約4時間	
		3-5 3-6 3-7 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	約4時間	
	講義動画④	4-1 4-2 4-3 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-4 4-5 心疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-6 4-7 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	約3時間	
	講義動画⑤	5-1 ～ 5-5 高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	約2時間	
		5-6 5-7 5-8 看取りに関する事例	約4時間	
		5-9 5-10 地域共生社会の実現に向けた他方他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約3時間	
	研修（グループ演習）	1日目 アセスメント及び居宅サービス計画書等作成の総合演習	9:30 - 17:00	11/12（水） 集合（財団）

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は、後日発送する「研修資料」をご確認ください。

☆集合研修コースの会場詳細

会場略称	会場正式名称	交通機関最寄駅
財団	公益財団法人東京都福祉保健財団 (新宿区西新宿2-7-1新宿第一生命ビルディング19階)	都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」/東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」/都営新宿線、JR・私鉄各線「新宿駅」

令和7年度第2期 東京都介護支援専門員 再研修 日程

(5) e コース (2509Se1：集合研修コース)

	動画名・番号	科目名称	時間※	受講日・受講方法
動画配信科目	オリエンテーション・研修資料	開講オリエンテーション	10分	令和7年9月26日 ～ 令和7年10月26日 配信動画を ケアマネ研修管理 システムで視聴
	講義動画①	1-1 1-2 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	約3時間	
		1-3 1-4 1-5 自立支援のためのケアマネジメントの基本	約5時間	
		1-6 1-7 1-8 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	約3時間	
	講義動画②	2-1 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	約2時間	
		2-2 2-3 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	約3時間	
		2-4 2-5 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	約3時間	
		2-6 2-7 ケアマネジメントに係る法令等の理解	約2時間	
	講義動画③	3-1 3-2 生活の継続及び家族を支える基本的なケアマネジメント	約3時間	
		3-3 3-4 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	約4時間	
		3-5 3-6 3-7 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	約4時間	
	講義動画④	4-1 4-2 4-3 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-4 4-5 心疾患のある方のケアマネジメント	約3時間	
		4-6 4-7 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	約3時間	
	講義動画⑤	5-1 ～ 5-5 高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	約2時間	
		5-6 5-7 5-8 看取りに関する事例	約4時間	
		5-9 5-10 地域共生社会の実現に向けた他方他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	約3時間	
研修（グループ演習）	1日目	アセスメント及び居宅サービス計画書等作成の総合演習	9:30 - 17:00	11/14（金） 集合（あいおい）

※ 研修（グループ演習）の終了時間は予定です。詳細は、後日発送する「研修資料」をご確認ください。

☆集合研修コースの会場詳細

会場略称	会場正式名称	交通機関最寄駅
あいおい	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル （渋谷区代々木3-25-3）	都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」/都営新宿線、JR・私鉄各線「新宿駅」